

# おめでとう祝 500号



## 南畑公民館だより

二〇一九年五月。平成から新しい時代へと変わる時、南畑公民館だよりは五〇〇号を迎えることができました。これも地域の皆様のあたたかいご支援によるものと思います。心よりお礼を申し上げます。そこで、今回は、歴代の編集長や編集委員の方々からお祝いの言葉や編集委員時代の思い出のお話を伺いました。  
新しい時代と共に新たなスタートとなる五〇〇号。これからの南畑公民館だよりをよろしく願っています。  
(新井博海、新井紀子、三塚好江、渋谷真実、表紀子、新井優、加藤和代、松下佳子、市川永樹、武田圭太)

### 第1町会 新井則幸

南畑公民館だよりが二〇一九年五月に五〇〇号の発刊を迎えると聞き、誠にうれしく心よりお祝い申し上げます。

久しぶりに三〇〇号記念合本版を本棚から引っ張り出してパラパラとめくって見ました。私は合本発刊当時、ちょうど編集長をしていました。平成十二年八月号で三〇〇号の節目。ページをめくっていくと、南畑地域の事情とそれを乗り越えていく姿勢が紙面のすみずみにうかがえて「南畑公民館だより」が

人々に支持される理由を再認識しました。また、平成七年一月号より現在も連載中（半世紀前の南畑）の渋谷一夫さんのご尽力とその労力は素晴らしく心から感謝の意を申し上げます。

最後になりましたが編集委員の皆様と職員の方々に心より御礼申し上げますと共に南畑公民館だよりが末永く発行されますことを願っています。



(元編集長)

### 第3町会 武田秀規

「南畑公民館だよりの編集委員を」というお話があつて、何か地域の役に立てるなら、という気持ちでお引き受けしました。とはいえ、それまで公民館だよりは斜め読みする程度で誰がどのように作っているのかを考えたことも全くありませんでした。

それでも、緊張して臨んだ最初の歓送迎会で他の編集委員さんが親しく話しかけて下さったのは有難かったです。以来、和気あいあいとした編集会議を毎月重

ねるうちに、ずいぶん長く務めさせていただきました。

また、実際に取材に出かけていって、地域の活動や人々に触れたり、他の公民館の編集委員さん等との交流で南畑地域の特色や良い部分に改めて気づくこともありました。

転入してきた方が増えてきて、いわゆる「南畑らしさ」がどうなっているのか。良い点は引き継ぎ広め改善すべき点は謙虚に改めて、「やっぱ南畑だな」と皆が言える地域にと、お互いに努めていきたいものです。

(元編集長)

### 第3町会 柳下春良

南畑公民館だより第500号発行おめでとうございます。私が編集委員として15年以上お世話になったのは、だいぶ昔の時代で当時は結婚された方や亡くなられた方なども裏面に載り、地域のコミュニティ新聞の役割が大きかったと思います。現在では個人情報でありえないことですが、一番読まれていた記事と一言おりました。

私は現在でも専業農家として皆様にお世話になっておりますが、公民館活動の中で人と人との出会い、そして様々な職業の方との出会いがあつてこそ今の私があると思っております。

現在の社会では、競争する面もあり厳しい社会です。心の安らぎ、そして仲間づくり、絆と言われていると思いますが、安心して生活できるしくみづくり

### 第2町会 野本巳智子

公民館だより500号おめでとうございませす。ふじみ野市（旧大井町）から転入して三月で二十三年になります。昨年、5月までこの歴史ある公民館だよりの発行に携わることが出来ました。両手の指では足りないくらい長い間でしたが教わる

(元副編集長)

ことが多く大変実になりました。原稿依頼は初めての方にお会いするのでドキドキハラハラでしたが皆さん快く引き受けていただき、その後もお会いすると

笑顔で接することができました。そして何より渋谷先生の長きにわたる南畑の自然とくらしのページはワクワクする楽しいページでした。今、第二運動公園の河津桜が満開です。この桜もいくつもない花を探して取材に行った覚えがあつて感慨深く眺めてきました。現在42件のたより配布をお手伝いさせていたただいています。公民館だよりが長く続きますことを御祈念いたします。

(元副編集長)



編集委員会の様子 (H29)

### 第1町会 大澤敦子

南畑公民館だより創刊500号おめでとうございませす。大変な重みを感じます。私は平成24年から30年まで編集委員としてお世話になりました。特集記事の内容を検討したり、ご近所のお宅や学校などの公共機関に取材に伺ったり、原稿をお願いしたりと不慣れなことも多くありましたが、大変勉強になりました。

公民館だよりは地域の皆さんのご協力あつてのものです。これからも多くの方のご参加を得ながら地域の今と昔を伝え、未来への希望を紡ぐ広報紙として末永く号を重ねていかれることを願っています。

(元編集委員)

### 500号を迎えて

地域の皆様のご協力の下に500号の発行ができたことを感謝します。取材や原稿依頼に何うと、快く引き受けてくださる方や配布協力をしてくださる方々など多くの皆様のおかげで、公民館だよりは発行されています。

昭和50年10月の第1号発行から、平成・令和へと続く500号の歴史に思いを感じ、公民館だよりが地域の皆様をつなぐ一助となれるよう、これからも編集委員一同、皆様に喜ばれる南畑公民館だよりを作っていきますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

編集長 新井博海

